



# ひよひよたより

NO5, 2013.7.19

4月から仲間と一緒に育み合いながら過ごしてきた一学期が終わり、いよいよ夏休みです。夏休みが明けた9/28、29の2日間で長野県野外保育連盟主催の「森のようちえん」を飯綱高原にて開催を予定しています。「森のようちえん」を多くの方に知って頂きたいという想いから企画されました。そして長野県内の森のようちえんがそれぞれアイデアを持ち寄り計画を立てています。私もひよひよで森の保育に携わるようになり「森のようちえん」「野外保育」を多くの方に知って頂きたいという想いは日に日に強くなっています。

森の中で一日過ごすということは自然の中にあるものから自分で遊びを見つける事、草花や昆虫、木の葉や木の実を使って自分たちの発想で遊びを抜けていくことが出来ます。そして雨や雪の寒さの中にいると自然と衣服の調節をすることで「地いい環境を自分で作ることが出来る」とわかるようになります。鳥の声や風の音に耳を傾ける時、森の空気の冷たさや温かさを肌で感じる時、自然に感覚(五感)が磨かれていきます。多くの森のようちえんは小さな集団であり、おおきい人と小さい人と一緒に過ごすことが出来る純粋な保育が大きいことの特色としてあります。

もちろんこうした身体的なことや感覚的なことなども森のようちえんを多くの方に知って頂きたいと思いつきの理由の一つですが、もと知って頂きたいのは「子ども同士の関わりを大切に出来る環境であること」「子どもひとりひとりがありのままでいることが出来る環境であること」「子どものペースを守ることが出来る、待つことが出来る環境であること」も大きな特徴であることがあります。

昨年の夏休みに汐見稔章先生(白梅学園大学大学長)の講演を聴きに行きました。日本でも個性教育は出来るのか~キーワードは「個性」でした。

幼児期にひとりひとりが持っている個性を大切にすると、ちに自分に満足している子ども、自分を大切にする子どもになります。「ありのままでいいよ」と受容された子は世の中のしきたりも守ろうとするはずですよ。みんな違う、いいんだよ。というお話をいた。そして最後に「森のようちえんのような保育がもっと増えていくといいね」と汐見先生がおっしゃったのが印象深く心に残っています。

子ども同士の関わり合いの時、自分の声かけはあれど良かったのが…ひとつひとつ三度の理由をちゃんと理解出来ていたのか…等々、日々子どもと向き合い、少しずつ「後悔した」はげましたり大人も育てられていよいよ思いました。「森のようちえん」はこんなに素敵なかの場所なのです!と伝えたいのです。夏休み、巴にたくさん学びや蓄えながら出来たらいいなと思っています。

子どもたち、ご家族の皆さんにとっても楽しい豊かな夏休みになりますように…。

: 美穂

## ああきいくみたより

7月4日、ああきいくみたよりでは、おみくりくりさんたちが陶製のオカリナの絵付け、松ぼっくりさんたちがペットボトルのマラカス作りをしていました。おみくりさんはペットボトルの中に入れられた木の実探しのお散歩へ。木の実は「いつの時期か子ども見つけていたか?」リストが半分に割れており、うるさいエビソライにてたたかれていたと見ていました。木の上にはマユミやリリバナの青い実、いい香りの山椒マツボウクリ、「あ、あれ?」と指さす木の上にはマユミやリリバナの青い実、いい香りの山椒やアブランチのまん丸の実もたくさんありました。カッコいい石を探すのに夢中の男子たち、実際にペットボトルを持ちポキロから入れようとすると「あ、大きすぎで入らなければ…」と残念そうな顔の人もいます。それぞれ手に手に色々持ち帰ると早速自分のマラカスの中に入れてみました。青い実で青い音が流れ出るのは太くん、「葉っぱをちぎって入れるとペットボトル(の内側)にくつくしく音と朝次第から、「リリカリを入れていい音になれる」と行くくんと寝杯ぐ。ペットボトル外側には葉っぱを巻き付けて、リリカリに金糸を垂いで貼り付け、児童おもいに飾りました。出来上がりにはじめは音が出るのがうれしくて「ジカジカ大音量でいい!」いやあーずつ音を比べてみようか?と「夏番に名前を呼ばれたら人が立ってみたい子の前でマラカスの音を披露してみる」としました。色々な歌方に合わせ、「夏番にシャカシャカ!」「ああいい音になれる」静かにやや人の演奏を聞くことができ、みんなの口からニズキに感じてニギヤ飛ばし出します。「大きい音!」「かわいい音!」とれど「石」が入りいると強い音にならないよんという表現も。アートの時もどうぞですが、この年齢でも松ぼっくりさんたちは「感じる」、それを表現する言葉が育てきています。自分たちが大工で作ったものからは、さらにたくさん感覚表現することができるかもしれません。

おみくりさん、くりさんたちのオカリナも、絵の具だけで淡い色彩に塗ったり、ペンも使って力強い線をかいてたり、それぞれ個性的に出来上がっていました。陶器の樂器なので、優しく音を鳴らすようにして、トナーと口をあわめて音を出すこと、指の押さえ方などやり方を開いて、それぞれ音を出してみたりと。

オカリナが乾くのを待って、次の週にはおみきいくみたよりで「世界中の子どもたち」と「パレード」の二曲、オカリナとマラカスの合奏をしました。張り切ってシャカシャカとマラカス大興奮の松ぼっくりさんもいたようです。パレードの終盤、「誰だか」に「ほらいいからが…」の曲調がゆっくりしてみるとこりは、オカリナもマラカスもぐっと優しい感じの音に変化。音段からたくさん歌うたないんで「ひよひよの子どもたちは、それを楽器に寺ちかえても、音をでないに感じたりするから樂器でうたうことができるのですね。森の中に優しい音が響いてひとときとてあります。

: 美和子



## 〈二学期の保育日〉

月	火	水	木	金
9月	3 ※1	4 ひ° ※2	5 み	6 ひ° ※3
	9 お	10 ひ°	11 ひ°	12 お
	17 ひ°	18 ひ°	19 松	20 ※5 清里キヤノン
	24 ひ°	25 ひ°	26 お	27 ひ° ※7 ※8
10月	30 お	1 ひ°	2 ひ°	3 お
※10	7 お	8 ひ°	9 ひ°	10 お
	15 ひ°	16 ひ°	17 お	18 ひ°
	21 お	22 ひ°	23 ひ°	24 お
	28 お	29 ひ°	30 ひ°	31 お
11月	5 ひ°	6 ひ°	7 お	8 ひ°
※15	11 お	12 ひ°	13 ひ°	14 ひ°
			15 お	※13 ※14
	18 お	19 ひ°	20 ひ°	21 お
	25 お	26 ひ°	27 ひ°	28 お
12月	2 お	3 ひ°	4 ひ°	5 お
			6 ひ° ※16	
	9 お	10 ひ°	11 ひ°	12 お
	16 お	17 ひ°	18 ひ°	19 お
				20 ひ° ※17
※15	11月中旬 収穫感謝の集い			
※16	保護者会 9:20~ メニホール			
※17	小さなクリスマスの集い			

## 一学期のエピソード 少しだけ…

### ・散歩略

### ・日々順

③スタッフ

④山澤さん

①山澤さん

園と園が土を塗っていた時、地面に置いたシャベルで園がさっと手で土を撒いていた。園が「あ!…」と声をあげてか何と言ったのか③「使っていいからね。使ってほんと声をかけていいんだよ。山澤さんはもしゃがつ貸してって言ってといなと教えてあげた。園「いやあ、じめじめしていいよ。山澤さんもしゃがつ貸してって言ってといなと教えてあげた。園「山澤さんもしゃがつ貸してって言ってといなと教えてあげた。園「山澤さんもしゃがつ貸してって言ってといなと教えてあげた。園「山澤さんもしゃがつ貸してって言ってといなと教えてあげた。」

宝の地図を描いてる②園。描写と丁寧、森へ…オペレタの「宝はどこだ?」を歌いながら歩いていく。②「あ!え!」③「金貨か?」どちらの穴を見つけて?④「さくら」さくらの森の奥へ…④「宝があ!え!」と見て探し子供の花。⑤「おとえいは花を見つに行こう!」とエロ進む。やせて⑥「あ!え!お!え!花!」スコット命が遊びごとと言われ延齡草(エリシウム)の花落が「あ!え!」花!思わず大人も歓声をあげてしまひました。

②③④と森の中を散歩。朝は泣いているとか多かった⑤が実顔で歩いている。⑥「よつめの園」で走り回る。練習がんばってからね、じんじんへの優しい眼差しで威圧的。

じんじん達の連休明け疲れもあれなく穏やかに一日の始まり…朝の集会に行くと大人が座る机の前にある切り株に⑦と⑧がいて、横によいしょ!といつて横を自ら運んで⑨園も座り「大人用いは人が4人。1に2に3と机から、みんなの顔とおめでていろ。⑩「机に座っているのは下に置くだよ~!!」机を運んで⑪と⑫が机下に下に置いていく。⑬「おは歌いすよ~。うわわ」とじんじん達が実際に歌って4人。机本に下にと保証。満足感にじんじん達はやり取り。

和田子（甘棠箱づくり）の日。のこぎりで板を叩いてはとすくいの松の木を  
ツツロー ツツローと えきわくらの声。和田聞いた。圓と圓。「早く作れよ~」  
言ひまへ。明日、今日 嵩んじやうかね。それなら 可いよ! 圓「早く作れよ! 慢な  
のこぎりも 加工打ちも 大好き!」二人は 最後まで 無むにやり合ひだ。

食後、宝、行、宇賀、道がネットで遊んでいた。美が手元で遊ぶのが出来て大歓声!! 宝「あっゲーー! 美羽ちゃんあっゲーー!」と本当に驚いていた。みんな本に寝ころんだかねべり時代。宝「美羽ちゃん超~かわいい~」とやエレホッペモアモア。宝「かわぎり サヨクは人~」、美「け~!!」、宝「かわいい~」、行「うーたー サヨクは人~」、「カラアゲ サヨクは人~」、宝「ウニコ サヨクは人~」、美「け~!!」、全員「えーウニコサヨクは人~!!?」、宝「美羽ちゃん おもしろい~」と大盛り上がりの大ねべり会となり。

5月のランチタイム。暑さが疲れか夏のホッペは涼しげいつねうちは朝の間に食べ方を教へ一杯目を飲む間に全員でみせん。③「真實くんお腹いつねく膨らんでる?」と聞くと④「食べ残してあるのか? あーんじで!」と答えると⑤「夏の口の中へ汗を集めてスカーン!」としながら「あーんじで」と言中止符度にあーんじで。⑥は全部食べ終りまして同じく一杯目が万葉茶の遙に見せつくて。⑦は場所を代物の遙の弟へ…⑧が「あーんじで」と言うと、魔法がかかると「あーん!」遙「和肉にして!」「野菜はいいだし、もういいと言ふ。完食できました。陽平くん元気かとう!

みんなで散歩。①がへびくに花を見つけて「黄色い花がいいね」という観察。それから形の草を見つけては「見て~見て~」と喜んで。みんなで興味を持ちながら歩いている。②のルーペでどんなやつ?...ひとつひとつ見ていくと見つけられた。

テラスで「おばやしの家」の和田さん(理) 和久さん(景)がおばやし家の準備中。理)おばやは大根が大根ですわ、おはくは大根(急) じゃあ大根入りヤキソバを和田さん(入)へへへへとおばやしの家へ(陽)おばやしの面おんはやく食べません。(急)(暴)(暴)(暴)おはくは「大根おこし、XO20アゲ」、「大根クリーク」等(理)おはくはおはくは張り切って行く、いいやがちゅう。(景)「和久さんは大根おこし」とXO20アゲス(理)「おはくは普通ほん!」とおはくはおはくは... (笑)

朝の和歩子が、毎回寝ることをしている(星)は、心経ではいる様子。若者を呼び込むと道路の方を走って今日も金中に少しつづく。戻ってみるとみんなが「和歩子」~!!(星)の自由でみんながやがゆい心経。毎日1212になります。

性やうの形を理組が新芽をつけ花束の形にしてゐるので陽「ほいわあ」印はん  
に見せたり。之が寺内と小川の見せ方。組「こうやく」と組ねば子、理「簡単だよ」と  
皆大に喜ぶ高木の組と中に入らぬ二人組(陽)も中(山)と相似して「山」で、「八」で  
「ブル」で「ツツ」で三つで「ツツ」。

今時 和散歩. 先週 Tohru に会って木の葉を撮る. 時間を保つことを目的とした. (瀧) 清水  
「あ. もう少し木の葉を撮るかいいがいい!」「サニエの木の葉を撮るかいいがいい!」と話しながら歩いていく. (瀧)  
陽朝が「見て見て~!見て~!」と言うので見てみた所アブラヤシの葉に匂いの雨が落ち  
葉と光って青め. 理由山朝の絵本(アブラヤシ)と同じで木の葉(陽朝) Tohru へ入ると感じ.  
雨の日の和散歩中. (瀧)「見て!見て!木の葉がいい!」ミズヒキの葉の模様  
を説いて見せていく. (瀧)「仮面ライダーHTU いは?」「この葉っぽと同じの ほん. 二  
ヶ月. 二ヶ月!」

水道の所(武) 金平が「やがれ山!」→「うるまーい! うれい!」と(子役も連呼)  
し寧山がいわ。加原の岸、「腹減」→と大きな人達が連呼(23口調と  
同じ)。FC見て、FC聞いて、子ども真似して一聲(いん) 加原(カハラ)さん達(だつ)。

週末の遊びの日。広場と森の境に穴を開けん娘(ひなこ)、大(おお)いの子達…  
このつまむてほりから埋めていた土と危険がたり(危険)が遊びの時間に埋め戻  
てしてしまひた。土が固くて(ひかれて)平らに広がる(はる)が土を運んで手伝って(せんてん)  
若狭(わかさ)がんばった。江(え)へ(江)行(ゆき)が来て「うそうそ。何(なん)遊びに来(わざわざ)た。  
お終(おひそ)り、お終(おひそ)り」とおめる口調。壁(かべ)に(壁)かか(かか)ねて(くわん)て(くわん)  
二(ふた)元(もと)に広(ひろ)いの、と(と)静(しづか)かに(かに)言(い)うと二人(ふたり)は(は)と(と)して(して)孫(まご)の(の)  
娘(むすめ)「ぼくも(ぼくも)土(ど)を(を)運(う)ぶ(ぶ)は(は)」と(と)手(て)伝(し)め(め)られ。

あづまやで<sup>(音)</sup>椅子から落ちて大泣きで泣き入<sup>(美)</sup>が近所に配達<sup>(音)</sup>は始めた<sup>(音)</sup>。今  
<sup>(音)</sup>の頭を冷やしてアソシング<sup>(音)</sup>と一緒<sup>(音)</sup>に持つ<sup>(美)</sup>下大天? 痛い? <sup>(音)</sup>「<sup>(音)</sup>も、なんか落ちた<sup>(音)</sup>  
から<sup>(音)</sup>そんすき<sup>(音)</sup>はいいだから。び、こ、レ<sup>(音)</sup>んて<sup>(音)</sup>。す、と、」

田んぼに着く。朝田んぼに着く。⑩「田んぼに水が入る」と田植えをするの?  
水多可哀! ⑪「田んぼの水多いと田植えの時もどうですか。苗が」とよく覚えてる。  
⑫「山外に生れたての雑草を抜いて⑬に差し⑭「ありました。外に生れたものよく覚え  
てます」⑮「稻作は大きくてどうなんですか。二日間 田んぼの水は入れずに、何でか  
倒れても引ひこむのです? ⑯は困ったよと思つていいだら、⑰が水の出でを全開にしていいだら  
う。⑯何で? ⑰「水が下に流れば出でを閉めていいだら、⑲「出でに流れたら、  
と足を道を作つていいだら、それをひきめたらしく ⑳「やあ! 今日はニラん葉で  
引ひこむと、」が、「後林へ出て跡がついたんでは?」「ほら道が土で土で水  
が流れています?」「オレが出でで水を流してやるから」と何本も ⑳で葉で道を作り  
(葉つづら)ほど構築! ⑳は「ほくも葉で」と追いつけて ⑲「後林で跡がつか  
て土から土と縁で 線で葉でから! 本当にあとで土と葉で(土と葉で) ㉑「五一集、  
ニラん葉で」と言いつつ水を流していいだら、 ㉒水を水をいいだら水を流す。全体の水が  
あひだら間に引ひこむ。㉓「ほく、水が土と土と土と ㉔「ほんと土と土と!」  
㉕「おー、ほんと土と!」(笑)「ほー!」(笑)「ほー!」

元気な体操の日。先週から挑戦していい旗棒(アーチスティック)飛ば下りるが昨日違う方に向った字。今日も嬉しく何度もやってみた。甲子園出でても挑戦。何とか(?)が登場と字「走れ!」と自分アニメするに大喜び。高い旗棒を下から上へとあがめ(?)の今日の目標のよう挑戦取組の恐怖心が無い。途中でストップして止まると何回か下から上へと「走れ!走れ!」と。今日も二度三度四度と嬉しき…。(渚は海上)は挑戦。下へと体を自分で飛ばすことを(大喜び)。朝五時起き。八時半起きまで。海上!走れ!と23回気合に向て大喜び。(渚)元気な体操の元気でみんなと1-2-1-2。3-1-2 旗棒に向かって手を合わせ、「明日も走れ」と鼓舞して終わる。

「おひる」を呼んでる散歩コースへ、**猪**と**達**は、前回の続編のほうは 大子陰陽神社の  
華やかな花と草をちぎっては入れ、家族で歩いていた。**達**「ほのかはほのか」とかん  
けむつだから 春と夏がね～、**猪**「本当だ。春と夏の妖精が遊んでるみたい！」**也**陽  
は、二人正面で岩の上に腰を下ろして座った。「おはす面立ちなんだからね！」と何度も  
いうは歌(1139)。

ふれっ草をブランコ下の水底剝に「田植え」し始めたのは ② 修<sup>モ</sup>築<sup>モ</sup>倉<sup>モ</sup>。それがんば  
のリアルでは!! ③ は「たらカエルがいい子」と石を二つそと手の中。 ④ 「もうかわいい子だ」  
から逃がれてあがめ、 ⑤ は水と水に放してあがめて手。 ⑥ 「こちちはオスマジウシ! ニシテ  
アメンボ!」と池の中を遊びながら ⑦ は説明している。 ⑧ 「ねたすけた カエルやんせうか! カエル  
は300日、アメンボは47日!」…やや半端。 田植えのあと、伸びる稻荷りしきと争うには  
じての水が豊と足りないからと交代の水栽培(?)。次には紅葉を編み出して門をしき。  
⑨ 「ほんのほんのけ! あとで田風呂も入ろうか!」 ⑩ も ⑪ は泥つきの苗を渡され、一株  
田植えしきたが、今は泥をついたて(?) 12月(?)で(?) そろそろ(?) ⑫ 「まくらぐる泥に  
好き嫌いあるのかね?」

近くのテーブルと椅子で家で行き来して、みんな作って以心<sup>ハ</sup>と明。⑪「ああかー！」とお  
来てー、明「ハイ！」呼びかけながら奥様が近くから戻る感じ… ⑫十時を过ぐて、  
学校まで歩き到着。リュックを背負って学校へ行き勉強して、帰りはヨロヨロ歩いた。  
⑬「学校終った？」⑭「学校では一人と寝ねたね。勉強大変だし」⑮「疲れるー」⑯  
「あ、帰ったらアイス食べやが。このアイス」⑰「△その味のアイス？」⑯「違うよ。△その形の  
アイスだよ!!」=人△ワッハハハ---

6月ある日の（リ・タリ）さんの集会). ②「友だち? 何?」 ③「...友だち? ... わたし!」

朝の集利後、再び中にはいつも出店… ⑦~~僕~~の~~僕~~は草、18'0 取扱い珍。  
籠の草、みつがうつさ、ぬかがうさ! かじつさ! 18'0 食べ物屋さん。⑧~~僕~~が「びんぐわん  
とうら猫(トト)虎(ヒョウ)? そして? クマの実(カクレハナ)地面に落ちていて ⑨~~僕~~は「うぐいす  
捨(スル)草(ハラ)」と横(ヨコ)で。⑩~~僕~~が「森(シバ)」と食(エサ)を取(と)り、背(せき)を  
かまへてと配(アソブ)。⑪~~僕~~はレッドラン? 落(ハラ)てる栗(リズ)を下(アシ)る! 使(つか)って栗(リズ)  
ケースやトッセイ<sup>トス</sup>カ<sup>トス</sup>グロテスク(セミの糞(ヒガニ))タマキミ<sup>タマキミ</sup>トス<sup>トス</sup>ウ<sup>ウ</sup>ハ<sup>ハ</sup>リ<sup>リ</sup>。

頭也(?) 喜(?) 遇(?) は万葉のとん(120)を名の3種(竹?)、茶、白黒黄)見たり。年が5年入  
集也がて(?) いはる<sup>ノ</sup>の動<sup>ヲ</sup>を準<sup>ム</sup>して作也。

旗牌は國の邊境から登り下りするので明が羨ましく見つめあつた  
も登り下りと一生懸命やつけるのがちよと辛う難い様子。見かねた國が明を抱き上げて  
ぶら下せられると明「幸いわ。幸いわ」と大満足。國も同じく國に抱き上げられ  
い两年がぶら下せられと八年を放し帽子を脱げ飛ばして两年→八年→回転→两年  
と見事に<sup>3</sup>と回った。その手腕力は國もびっくり! 何事もやらせてやりつけた。

ランチ後のネット遊び。隼人が卓上にネットに登って(130m)からと南アガエガリ(13)が苦労している。13「もう、誰か一人二つに来よ!」と怒りながら言うと(春)「お兄ちゃんね」「おー、一大きな登山車から登るよ」と言い返して(春)。その後すぐに(行)、(金)、(春)、(春)が来てネットに登りました。(行)、(春)がさっと登ったあと、(春)が登頂に困っていましたと(春)「誰かひとりで五分の道42歩25mで!」、(行)「いいぞ!」と手を差しのべました。(春)が登頂と(春)「おまけ大成功!」と手を自動的に引く。312(春)が(春)は「お兄ちゃんね うれしかった」と悟り手を伝えた。(春)。

オムツ替えの瞬間、**遙**「OOさん(②の姫)にかえてもらう」、**②**「ピッピの大人はみんな遙ちゃんのことが大好きなんだよ。だから私がやがえても、きっと同じ!!」。すると**遙**は、にこっと春暁らしい笑顔で、オムツを預かるのが好きでした。

## 中田火田てにより

田んぼの施肥は、当初土か肥料か根っこが張らず、大きくならず本当にいい面でした。あせを強くすればあせ塗りをして日射にはがれて草と土に混ぜてのかじいてはいたのですが、土に草を漬け置いたのも関係あるのか、土が発酵?していつもよりどうとしない感じで根が張りづらい斗志態になつたのです。水を引かせて田んぼの土を草取り根引きやすくすると水で温め、やまと根も成長してきました。これから進むて今を取り戻していくとよいのですか……。さうに見てると雑草が勢いを増していくので、草取りに本腰を入れていきたいと思います。

火田さんは昨年秋にみみきいみで種まいて、花が咲いてました。×入り入れて天日干ししていいパンを食べました。どうぞ、ひのひの庭のランタウホカガモ、3月くらい大きめです。みんなで収穫して植え替えてください。

「簡単コーレスローサラダ」

キャベツは太めの千切り、にんじん・きゅうりは細い千切り、玉ねぎは薄くスライスします。まずは少量の塩とあらびきブラックペッパーをかけて「さわぎゅ」と手でモリモリします。その上に米酢と良質のオリーブ油をまわしがけ、 $\text{PIT}=2^{\circ}\text{C}$  手で全体がしあわせになるまでよくモリモリします。半日くらい置いて味がよく広がります。たくさん作る場合は冷蔵庫に入れなければ、日干しだけで、葉し鶏エビを加えたりするのも、夏の常備菜にぜひどうぞ。

## ひ、ひの森の小鳥たち（7月：キビタキ）

葉が二んもりといぢって、不思の涼しさを季節に感じる季節ですね。春先と比べ、子どもたちが遊び森もだいぶうす暗くなりました。風がふくと、木梢からキラキラ…と木もれ日がさしにみ本当に気持ちがよいです。そんな中、切り株を使って、お家二つをいたり、つるのブランコにのってゆったりとしていると、目の前に光が…？よくみると、鮮やかで黄色とオレンジの婆をしてニキビタキです。先月ご紹介してオオルリは木の梢でみつけたことがタリいのですが、キビタキは木の中間を利用することが多く、目の高さに近い場所で、じっくりとその美しい姿を眺めることができます。また声も、森のピッコロ魔者ともいわれるほどで、とても高く響く声で“ピーリッピーポーピーリ… ポーピーピーリー”などと長くくり返してしまいます。しばらく聞いているとなぜか「ツクツクホーン」とセミの声に混淆することもあり、木にとつてしまはんばかり。それでみられ、愛嬌のある鳥に感じています。